

九條武子さまのご生涯

- 1887 明治20 10月20日京都西本願寺でご誕生。
父 大谷光尊(本願寺第21代門主明如上人)。生母 圓明院。
兄 大谷光瑞、孝慈(木辺)、光明、尊由。姉 文子。妹 義子。
- 1900 明治33 13歳 伏見桃山の別荘「三夜荘」で、病氣治療の父君の看病のため一緒に暮らす。
- 1903 明治36 16歳 1月18日 父君往生(54歳)
- 1904 明治37 17歳 日露戦争勃発。義姉^{かずこ}籌子裏方(光瑞夫人)をたすけて各地に真宗婦人会を創設。
- 1909 明治42 22歳 9月25日 九條良致氏と結婚。^{よしむね}
- 1911 明治44 24歳 1月27日 籌子裏方(仏教婦人会総裁)往生。亡き姉君にかわり全国を巡回伝道。
- 1914 大正 3 27歳 兄君、ご門主引退。
- 1920 大正 9 33歳 亡き義姉籌子裏方の念願を受けついで仏教精神を基調とする京都女子高等専門学校(京都女子大学の前身)が設立される。
処女歌集『金鈴』を竹柏会より出版。
夫九條良致氏10年ぶりに帰国。東京築地本願寺内に居を構える。
- 1923 大正12 36歳 9月1日 関東大震災。築地本願寺一帯は焼失、淀橋区(現在の新宿区)下落合に転居。被災者の悲惨な生活をみて、救済につとめ、社会事業を続けて行うことを決意。
- 1924 大正13 37歳 東京真宗婦人会々長・六華園々長として社会事業(救済活動、児童愛護)に活躍。過労から発病。圓明院のもとで静養。
- 1925 大正14 38歳 巡回を再開。6月5日東京本所緑町に診療所開設。
- 1928 昭和 3 42歳 1月、永年の奉仕活動の過労から発病。敗血症のため青山磯部病院において、2月7日午後7時23分、合掌、お念仏のうちに往生。2月13日、築地本願寺でご葬儀。「厳浄院釈尼鏡照」東京和田堀廟所に埋葬。京都東山の大本廟に分骨。11月歌集『薰染』が、さらに翌4年12月三回忌法要の記念に歌集『白孔雀』が出版された。ご命日を如月忌と呼ぶ。



大谷本廟(京都市東山区)にある武子さまのお墓